

2024年4月30日

各 位

上場会社名 株式会社K S K
代表者 代表取締役社長 牧野 信之
(コード番号 9687 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員
管理本部長 川辺 恭輔
(TEL 042-378-1100)

中期経営計画（2025年3月期－2027年3月期）策定に関するお知らせ

当社は、2025年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画「Blue Wind Chapter II」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の目的

- K S Kを強靱化し再生することによってV U C A環境を克服し、創業100周年の未来に向けて持続的成長の基盤づくりを行う。
- K S Kの事業活動の価値を環境価値・社会価値と中・長期的に整合させる経営革新（※S X）に取り組む。

※S X : Sustainability Transformation

2. 中期経営計画の概要

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| (1) 名 称 | Blue Wind Chapter II |
| (2) 期 間 | 2025年3月期 ～ 2027年3月期（3か年） |
| (3) 重点課題 | ① 事業の強靱化
② S Xへの取組み
③ 人と組織の強靱化 |

なお、詳細につきましては、別紙資料をご参照ください。

以 上

2024年度～2026年度
中期経営計画

Blue Wind Chapter II

2024年4月30日

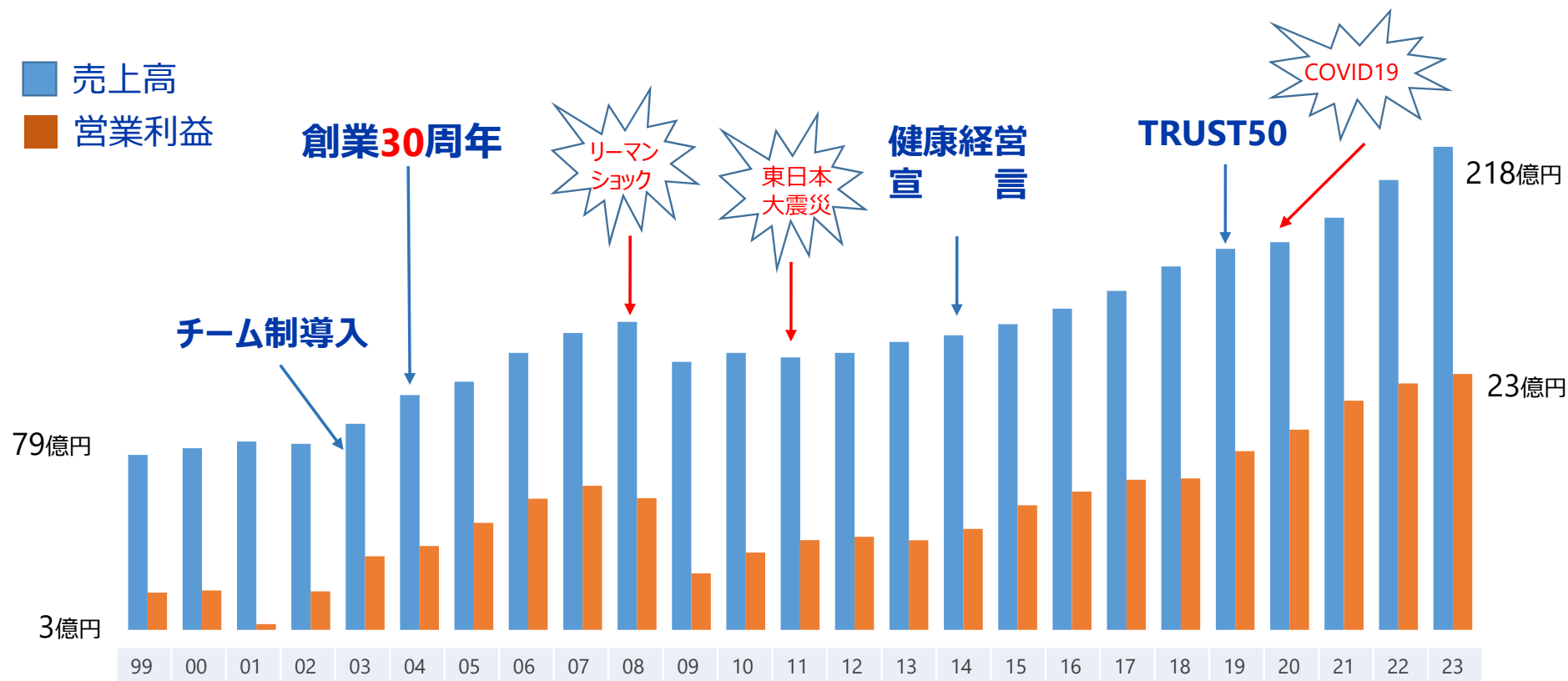


Team KSK

株式会社 KSK

KSKグループ成長の軌跡

KSKグループは、激変する環境と厳しい競争の中、現場力革新活動を通じ組織体制の進化を図り、企業価値を向上させてまいりました



環境認識



KSKグループでは、社会・市場・自社それぞれの環境について、以下のとおり認識しています

社 会	<ol style="list-style-type: none">1. 脱炭素社会2. 人手不足3. 働き方改革	<ol style="list-style-type: none">1. 環境／人権問題など社会課題（SDG s）への取組みが企業に強く求められている2. コロナ禍が明け需要の拡大とともにあらゆる産業で人手不足が顕在化している3. 2015年以降様々な職場法制が整備されたことにより、労働時間をはじめとする働き方が見直され、労働者の意識も変化している
市 場	<ol style="list-style-type: none">1. DXと内製化の拡大2. 受託からクラウドへのシフト3. 生成AIの普及	<ol style="list-style-type: none">1. DXの進展に伴い、IT市場拡大の一方においてシステムの内製化が進行している2. 個別システムの受託開発型からクラウドなどのサービス提供型へと市場はシフトしている3. ChatGPTをはじめとする生成AIが急速に普及し、ITの現場で活用が進んでいる
K S K	<ol style="list-style-type: none">1. Age Diversity2. 組織活力の低下	<ol style="list-style-type: none">1. 30歳以下の若手世代が5割超となり、ベテラン世代との間の意識や価値観の違いが生む様々な課題が組織内で表面化しつつある2. 社会の価値観の変化に社内施策の運用が適応不全となり、前向きな意欲や競争意識の低下と依存や和を優先する風潮が社内の組織活力の低下を招きつつある

基本方針



KSKグループは、環境変化に適応し、さらなる企業価値の向上と持続的成長を実現すべく、以下のとおり基本方針を定めました

1. KSKを強靱化し再生することによってVUCA環境を克服し創業100周年の未来に向けて持続的成長の基盤づくりを行います
2. KSKの事業活動の価値を環境価値・社会価値と中・長期的に整合させる経営革新（※SX）に取り組めます

※Sustainability Transformation

- 1) 事業の強靱化
- 2) SXへの取り組み
- 3) 人と組織の強靱化

重点課題



KSKグループは、基本方針に沿って、以下の3点について重点課題として取り組んでまいります

1. 事業の強靱化

- ・優良顧客主体の安定した既存ビジネスを強化しつつ、一方において市場環境の変化に応じた高付加価値の新規ビジネスを創出します
- ・技術力とPJ生産性の向上により一人当たり単価を高め高収益体質への転換を実現します

1) 収益力強化

2) 技術力向上

重点課題



2. SX (Sustainability Transformation) への取組み

- ・人的資本の充実を軸に中長期的に事業基盤を強化します
 - ・お客様サプライチェーンの中核として、SDGsなど環境課題・社会課題への取組みに主体的に貢献することで、安定的・持続的な成長を実現します
 - ・エシカルを調達・購買行動の原則とします
- 1) HR部門の体制強化
 - 2) 環境関連の外部審査受審
 - 3) 地域貢献活動の継続

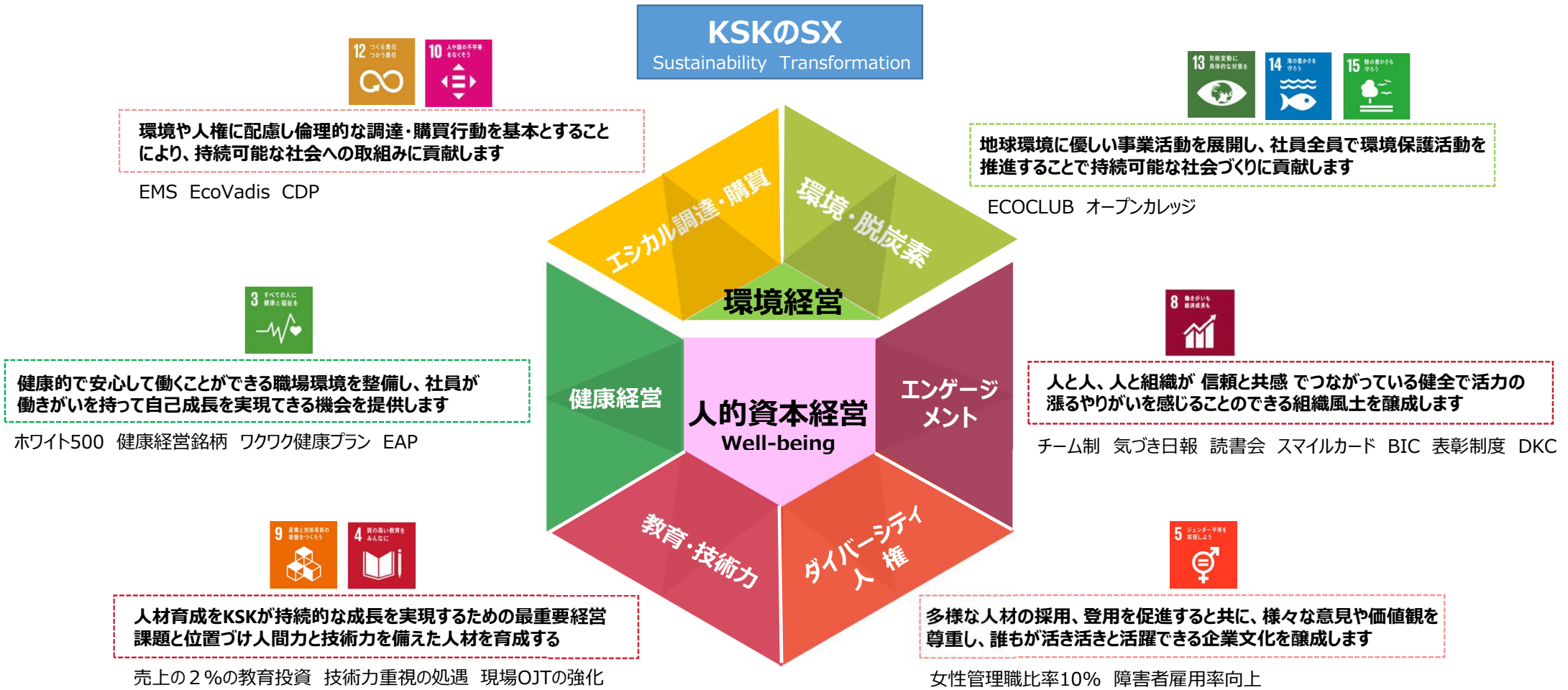
3. 人と組織の強靱化

- ・採用、育成、DE&I、健康経営、エンゲージメントを重要強化項目とし、人的資本投資を強化・拡大します
- ・働く環境の整備と処遇改善によりWell-beingな職場を提供します
- ・ゆる甘チームから革新的で創造性豊かな澁刺チームへの転換を促し、強くてしなやかで市場競争力の高いチームづくりを行います

- 1) 若手教育の強化
- 2) 女性・若手の登用
- 3) 人事・処遇の改善
- 4) チーム活動の変革

KSKのSX (Sustainability Transformation)

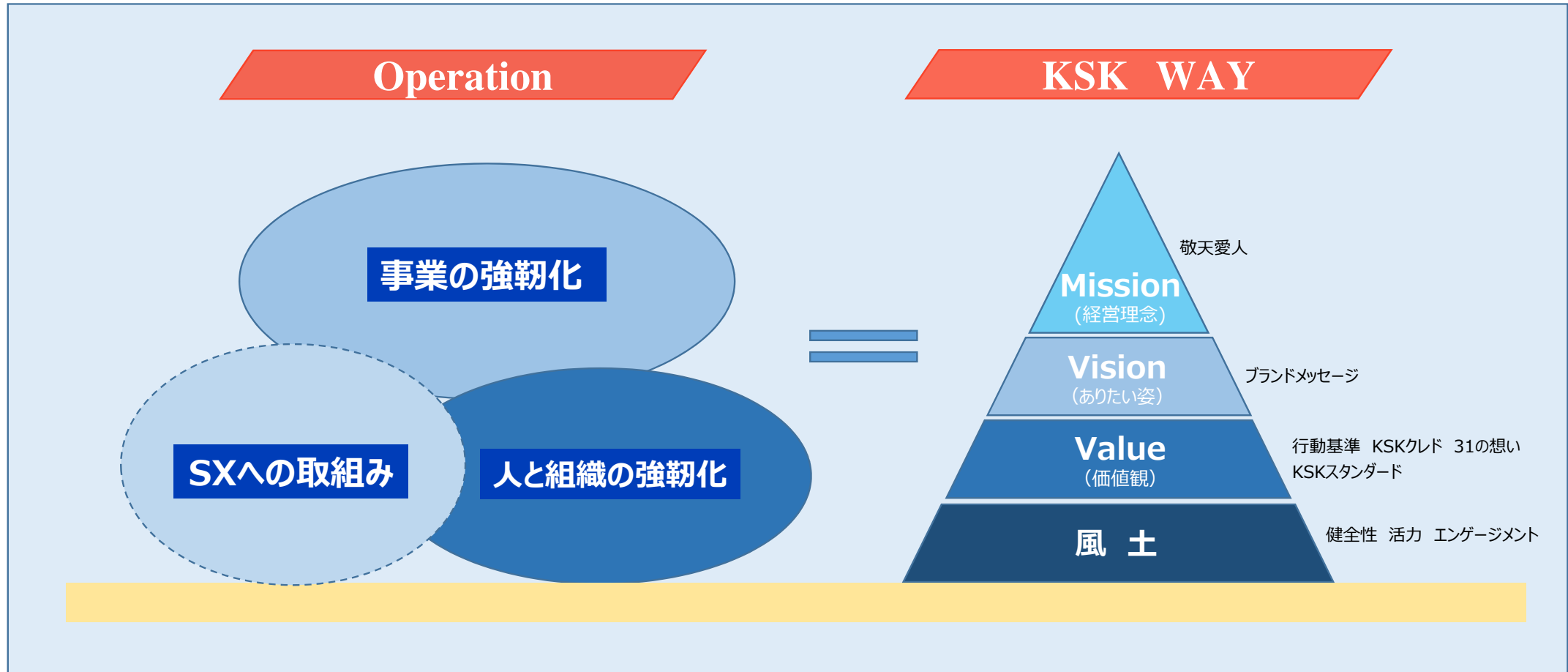
KSKグループは、以下のとおり、人的資本経営と環境経営を同時に推進し、経営革新（SX）に取り組んでまいります



TeamKSKの経営全体フレーム



KSKグループの経営全体フレームは以下のとおりです



Operation

事業の強靱化

高付加価値新規事業
技術力とPJ生産性の向上

SXへの取組み

人的資本の充実
社会課題への貢献
エシカル調達・購買

人と組織の強靱化

技術力と人間力 CS 5S 品質
澆刺チーム エンゲージメント
健全で活力漲る風土

KSK WAY

Value

- ・先進技術と究極の品質
- ・公共性と倫理観
- ・共生と共創
- ・迅速性と柔軟性
- ・熱意と意欲
- ・やり切る力

行動基準
KSKクレド
31の想い

Vision

- ・創造性と革新性に富んだ
高い価値を創出する
- ・社会価値と経済価値の
共生を実現する
- ・活力漲るエンジニア集団
として挑戦と進化を続ける
- ・社員が価値観を共有している
- ・人と組織が信頼と共感で
つながっている
- ・社員が誇りをもって働い
ている

ブランドメッセージ

Mission

敬天愛人

私たちKSKグループは
テクノロジーを通じて豊かな未来を創造
することを自らに与えられた使命と考え
グローバルな価値を持つ普遍の真理に
したがって
人間中心の経営を実践します

Commitment (連結)



KSKグループは、3つの重点課題への取組みを通じ、資本効率の向上および各ステークホルダーとの関係強化を図ってまいります

			2023基準値	2026目標値
財務KPI	売上成長率	3年間累計	—	26%
	ROE	2026年度	11%	12%
	配当性向	2026年度	30%	50%
人的資本KPI	エンゲージメント指数	Eサーベイ 健康経営	92.3p	97.0p
	DE&I指数	女性管理職比率	7.1%	10%
	教育投資指数	教育投資額 技術力向上	75.6p	87.5p
コンピタンスKPI (現場力)	チーム力指数	チームカサーベイ	91.2p	93.0p
	品質指数	品質KPI シン5Sスコア	42.3p	60.0p
	CS指数	VOCスコア	89.7p	90.0p

(単)

※ K P I の指数項目は、社内管理指標を指数化してP表記しています